

埼玉業Ⅲ発第2163号
令和6年12月5日

各郡市医師会長 殿

埼玉県医師会長 金井 忠 男
(担当常任理事 高木 学)
(公印省略)

令和6年度第1回埼玉県医師会小児救急医療研修会の(hybrid)開催について (通知)

平素は当会の小児医療事業につきまして、多大なご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、埼玉県からの委託事業として、小児救急に対応する医師の養成と充実を目的に、下記のとおり研修会を開催することになりました。

『こどもの救急診療に携わる際に知っておきたいミニマムエッセンス』をテーマとして、休日や夜間における初期の小児救急医療に対応する医師や通常診療で小児医療に携わる専門外も含むすべての医師を対象にした研修会です。

つきましては、貴会管下会員・医療機関へご周知いただきますようお願いいたします。

また、参加申し込みにつきましては、下記の URL または QR コードから各個人でのご登録をお願いいたします。

記

1. 日 時 令和7年1月18日(土) 午後2時10分～
2. 場 所 埼玉県医師会5F大会議室 (Hybrid開催)
3. 参加登録 URL または QR コードから各個人でのご登録をお願いします
登録 URL <https://bit.ly/498VJm9>
4. 参加対象 埼玉県内の小児医療に携わる医師
(診療科目は問いません)
5. 内 容 別添プログラムのとおり
6. その他 日医生涯教育講座 CC:28 発熱、35 けいれん発作、57 外傷

QR コード



担当 業務課業務Ⅲ担当 川島
電話 048-824-2611
e-mail kawashima@office.saitama.med.or.jp

令和6年度 第1回 埼玉県医師会小児救急医療研修会

日時 令和7年1月18日(土) 14時10分～
場所 埼玉県医師会 5階 大会議室 (Hybrid開催)
進行 埼玉県医師会理事 佐藤達也

1. 開 会

2. 挨拶 埼玉県医師会常任理事 高木 学

3. 研 修 テーマ

『～こどもの救急診療に携わる際に知っておきたいミニマムエッセンス～』

座 長 埼玉医科大学総合医療センター
小児科教授 井上信明 先生

I. 「重症小児患者を見逃さないコツ」 (14:15～14:55)

－休日夜間診療など、資源の限られた環境であっても、確実に重症患者を見逃さないようにする秘訣を3つお伝えします－

講 師 埼玉医科大学総合医療センター
小児科教授 井上 信明 先生

II. 「主訴別：見逃してはいけない病態/疾患」 (14:55～15:35)

－よくあるこどもの主訴のうち、「発熱」「咳」「嘔吐」の3つに隠れる重篤な病態・疾患を見逃さないために、確認すべき病歴や身体診察のポイントを解説します－

講 師 草加市立病院 診療部
小児科部長 滝島 茂 先生

(休憩 10分)

III. 「専門医でなくてもできるこどもの外傷診療」 (15:45～16:25)

－こどもはよく怪我をしますが、こども外傷のなかには、専門医でなくても十分に対応できるものがあります。「頭部外傷」「肘内障」「前腕骨折」などのうち、非専門医であっても質の高い診療を提供するためのポイントを解説します－

講 師 東京都立小児総合医療センター
救命救急科医長 岸部 峻 先生

4. 閉 会 閉会の辞

※日医生涯教育講座 CC: 28 発熱(0.5単位)、35 けいれん発作(0.5単位)、57 外傷(0.5単位)